



PDA 静岡県立静岡高等学校・三重県立四日市高等学校 即興型英語ディベート 体験会

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2020年4月30日(木) 10:00-12:00

会場：遠隔開催 (zoom を使用)

参加者：81名 (生徒・教員)

ジャッジ：PDA 認定教育ジャッジ (青森県立五戸高校、神奈川県立相模原高校、神奈川県立相模原高校、兵庫県立千種高校)、PDA スタッフ

助成：公益財団法人 日本財団、公益財団法人 KDDI 財団

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、遠隔開催となりました。まず初めに、四日市高校校長の松岡泰之先生より、「新型コロナウイルス感染症の影響もあり、今年もこの体験会が実施できるか不安に思っていました。今年も実施することができ、また多くの生徒のみなさんが参加し、大変嬉しく思います。今回オンライン形式での実施ということで、参加するかどうか迷ったという人もいるかもしれませんが、やってみようという一歩を踏み出したその勇気をまずは讃えたいと思います。ぜひ充実した時間を過ごしてください。」とご挨拶がありました。次に、静岡高校校長の志村剛和先生より、“Hello, everyone. Thank you for joining PDA debate lesson by using online zoom meeting system. Let’s challenge and try to debate and learn how to think globally and how to debate each other. I think this lesson will be a good experience for you. After the lesson, I hope you will get a positive mind and will be a good debater.”と英語で激励のお言葉をいただきました。



四日市高校校長 松岡先生



静岡高校校長 志村先生

簡単に zoom を用いてのディベートの行い方について説明を終えると、いよいよ第1ラウンドの始まりです。英語でディベートをするのは今日が初めてだという人も多く、お互いにルールの確認をしながらディベートの準備を開始しました。



メインルームで論題発表



チームメイトとアイデアを出し合います

ディベートが始まると、緊張しながらも一生懸命にスピーチする様子が見られました。ディベートが終わるとお互いにエアークラップをして、健闘を讃え合いました。



堂々とスピーチを行います



ディベートが終わるとエアークラップをしました

続く第2ラウンドでは、第1ラウンドよりも複雑な論題でしたが、第1ラウンドでジャッジの先生からもらったアドバイスを活かしながら準備・ディベートを行いました。



楽しくディベートの準備を行います



聴衆を見ながらスピーチをします

ディベートが終わると、第2ラウンドでベストディベーターに選ばれた生徒が「英語ディベートは今日が初めてで、ルールもあまりわかっていない状態での参加でしたが、ディベートを実際する中でだんだん理解することができました。楽しかったです。」「自分の意

見を説明するのが精一杯で、第1ラウンドでは相手の話を聞いて反論することができなかつたのですが、ジャッジの先生からのコメントを活かし、第2ラウンドでは反論をすることができました。成長を実感することができて嬉しいです。」「1回目はグダグダになってしまったけれど、2回目はすごく楽しくディベートすることができました。」「論点をずらさない、POIにチャレンジする、具体例を説明する、などの自分の中の目標を達成することができました。」と感想を述べました。

また、PDA理事の中川より、「みなさんが働く頃には実際に会社などに行って働くのではなく、リモート化がより進んでいると思います。遠隔でも変わりなくできるという部分もあると思うので、オンラインでもディベートを頑張ってください。」と労いの言葉を述べ、体験会が終了しました。



参加者の声（アンケートより抜粋）

・グループで話し合い様々な意見を得られ、英語で話す経験をつむことができ楽しかった。（静岡高校）

・初めての体験でわからないこともありましたが、考えたことを伝えるということの大切さを改めて知ることができたので、よかったです。（四日市高校）

・1回目は中々うまくまとめて喋ることができなくて、負けてしまったけど、2回目は少し慣れて、勝利することができたので、嬉しかった。（四日市高校）

・同じことを伝えるにしても言い方、使う言葉などで伝わり方が変わると学ぶことができた。（静岡高校）

・普段はあまり英語で会話をする機会がないし、あっても簡単な短文だけで終わってしまいがちなので、英語で順序立てて議論する今回の体験は英語の力がつくのを実感することができてとても楽しかった。1ラウンド目の反省点を2ラウンド目にいかすことができてよかったです！参加する前は自分の意見を上手に表現できるか不安だったが、いざ参加してみると思っていたよりも英語で伝えることができて嬉しかった。（静岡高校）

・ディベートは飛び込むまでは少し怖かったが、やってみたらとても楽しかった上、英語力も論理的に考える力もついた気がした。（四日市高校）

・自分の英語力を話す力がどれぐらいかを気づく機会となり、もっと英語を話したい！！と強く思いました。（静岡高校）

・初めてで緊張しましたが、自分の意見に説得力を持たせるために考え、それを英語にするというのは楽しかったです。ベストディベーターにも選んでいただけて嬉しかったです。POIを躊躇ってしまったのですが、そこで言いたかったことを同チームの後のスピーカーが言ってくれて本当に安心しました。次はPOIにも挑戦したいです。（四日市高校）

・上手くは出来なかったが、考えて英語を話して相手に言いたいことが伝わっていると嬉しかった。（静岡高校）

・英語ですべてを話すことはとても難しかったです、両方の視点から物事を考え、それを英語で話すという体験が出来て良かったです。機会があればまた参加したいです！（四日市高校）

・今回は2回目の挑戦だったけれど、前回よりはしっかりと自分の意見が言えた気がする。チームのみんなもとてもしっかりしていたので、意見も言いやすかったし、きちんとまとめてくれる人がいて助かった。ただ、まだうまく意見をまとめきれないので、また挑戦したい！（静岡高校）

・本当に楽しかったです。昨年、1年生の時に2、3回ディベートに参加していてとても楽しかったので今年は学校がなくてできないのかなと残念に思っていたのでオンラインという形で参加できて大変嬉しかったです。開催していただきありがとうございます。まだまだ私は英語を話すのもディベートのテーマについて考えることも未熟なのでもっとうまくなりたいと今回

改めて思いました。また機会があれば是非参加したいです。ありがとうございました。(四日市高校)

・普段の英語の読み書きよりはるかに難しく自分に足りないものを発見できたとても有意義な時間でした。休校中ですけれど思い切って参加して本当に良かったと思います。(四日市高校)

・初めは緊張しすぎて、準備ができなくて、グダグダになってしまったけど、2回目はどうしたら説得できるか考えてスピーチ作成が出来て貴重な体験になったと思います。(四日市高校)

・時事ネタについてじっくり考えたり、ディベートの論点を捉えたりするのが楽しかったです。(静岡高校)

・何回やってもまだまだだけど、だからこそ終わりが無い成長を求めたいです。去年の自分の方がうまく話せたなとも思ったし、後輩の方がうまく話せていたりいて途中いら立ちとか焦りというか、複雑な気持ちになりました。でも今回参加したことで新たに得たことを忘れずにがんばりたいです。(静岡高校)

・初めてディベートをやって、最初のディベートでは自分の意見で必死で相手の意見をちゃんと聞いて返すことができなかった。2回目では相手の意見をちゃんと聞いて何か返すことを目標にしてやったら、ディベートが1回目より深まった感じがして楽しかった。今後機会があれば意見をさらに広げて話してみたい。(四日市高校)

・私はあまり英語を話すことや聞くことが得意ではないのですが、勇気を出して申し込んでよかったなと思える2時間となりました。初めは相手の意見を聞く余裕がなく、反論することができなかったのですが、ジャッジの先生にこんな私の発表でも良かった点をおっしゃっていただいたことで少し自信を持つことができ、第2ラウンドではもっと成長できるように頑張ろうという気持ちになれて、拙い英語ながらも反論をすることができ、今後の自分の自信にも繋がりました。このような機会に参加したことがなかったのととても良い経験になりました。ありがとうございました。(四日市高校)

(教員の部)

・初めてのオンラインディベートが新鮮でした！いろんな視点からディベートにトライする姿がフレッシュに思えた！

・私も気付かなかった点を的確に英語で説明できている生徒を見て、自分も研鑽せねばと改めて思われました。

・この困難な時期にオンラインディベートを企画していただき、有難うございました。本校は1年生がたくさん参加しましたが、大きな自信となったと思います。

・初めてのオンラインでしたが、生徒たちは使いこなせていたと思います。自分の頭で考えて発表できて、濃い時間だったと思います。ありがとうございました。

・英語力だけでなくディベート力の向上にとっても興味がわきました。

・オンラインの教育利用の可能性の大きさを目の当たりにできました。生徒達の適応力には脱帽です。